令和6年度 第3回東淀川区教育行政連絡会（小学校）議事要旨

1 日 時 令和7年3月7日（金）15：00～16：35

2 場 所 東淀川区役所 3階 301・302 会議室

3 出席者

- (1) 小学校：東淡路小学校長、西淡路小学校長、菅原小学校長、新庄小学校長、大隅東小学校、豊里小学校長、小松小学校長、下新庄小学校長、井高野小学校長、大桐小学校長、豊新小学校長、東井高野小学校長、大隅西小学校長、豊里南小学校長、大道南小学校長
- (2) 区役所：東淀川区長（区担当教育次長）、副区長（区教育担当部長）、子育て企画担当課長（区教育担当課長）、教育担当課長代理（教育政策課区教育担当課長代理）、保健福祉課担当係長（教育政策課担当係長）

4 議 題

- (1) 令和6年度校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）について
- ・民間事業者を活用した課外学習事業（こぶしのみのり塾）について
区役所の配付資料をもとに説明を行った。
(学校からの意見)
特になし
- (2) 令和7年度校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）について
- ・実施事業の概要について
 - ・学校の実情に応じた教育支援事業について
区役所の配付資料をもとに説明を行った。
(学校からの意見)
特になし

(3) 令和7年度学校に係る主な事業について

- ・ 令和7年度各予算（案）の算定状況の概要について
- ・ 各種教育事業について

区役所の配付資料をもとに説明を行った。

主な意見交換は次のとおり。

(豊里南小学校長)

学校支援ボランティア人材バンクについて、実施方法とこれまでの実績を伺いたい。

(保健福祉課担当係長)

市民の方から学校支援ボランティア人材バンクの登録申請後、申請者の活動希望校にお声掛けしている。学校側からの要望があれば、申請者と学校で面談を行い、マッチングの上、ボランティア活動開始という流れになる。

実績については、平成30年の事業開始から22名の方にご登録いただいた。また、令和6年度は6名の新規登録があり、全員マッチングが成立し活動に至った。

(4) その他

- ・ 令和7年度東淀川区運営方針に係る現状把握のためのアンケートについて

区役所の配付資料をもとに説明を行い、アンケートの協力を依頼した。

主な意見交換は次のとおり。

(小松小学校長)

経営課題2-2について、具体的取組、「支援を必要とする子供に合った施策に繋げることができる体制の構築」の中に、ヤングケアラーなどの視点が挙げられているが、ヤングケアラーは小学校から始まることが多いと伺ったことがある。しかし、児童自身は自分がヤングケアラーだと気付いていない。

児童がヤングケアラーであることを自認するためにも、体験者の団体との交流を区の施策として検討していただきたい。ヤングケアラーに係る取組を区が中心となり実施することが大切であると考えている。

(子育て企画担当課長)

区役所の子育て支援室が相談窓口となっているが、児童自身がヤングケアラーである

と認識がないケースもあり、相談窓口に直接問い合わせがほとんどないのが実情。
こどもサポートネットの中でヤングケアラーと疑わしき状況にあるお子様に対して、
家庭に応じた支援に繋げていけるよう取組んでいる。また、こどもサポートネット内
でキーワードを設定し、ヤングケアラーの早期発見に努めている。
今後も学校と連携するとともに、こどもサポートネットの推進や体制の充実を図って
いきたい。